

調査結果の概要

1 健康意識調査票における質問項目の結果

(1) 回答者

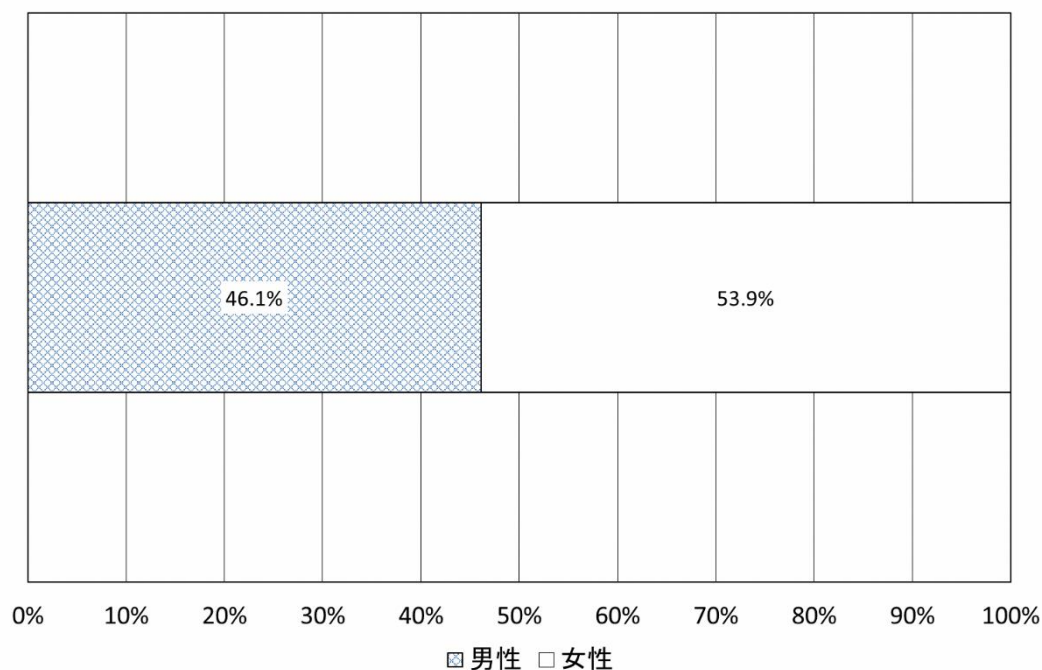
歯科健康意識調査に回答した者は、男性 1,180 人、女性 1,377 人、計 2,557 人である。回答者の性の構成比について、図表 1 に示す。「男性」が 46.1%、「女性」が 53.9%であり、女性の回答者の割合が高くなっている。

年齢階級の構成比について、図表 2 に示す。「60～69 歳」が 24.1%と最も多く、次いで「70～79 歳」が 17.0%、「50～59 歳」が 15.8%となっている。

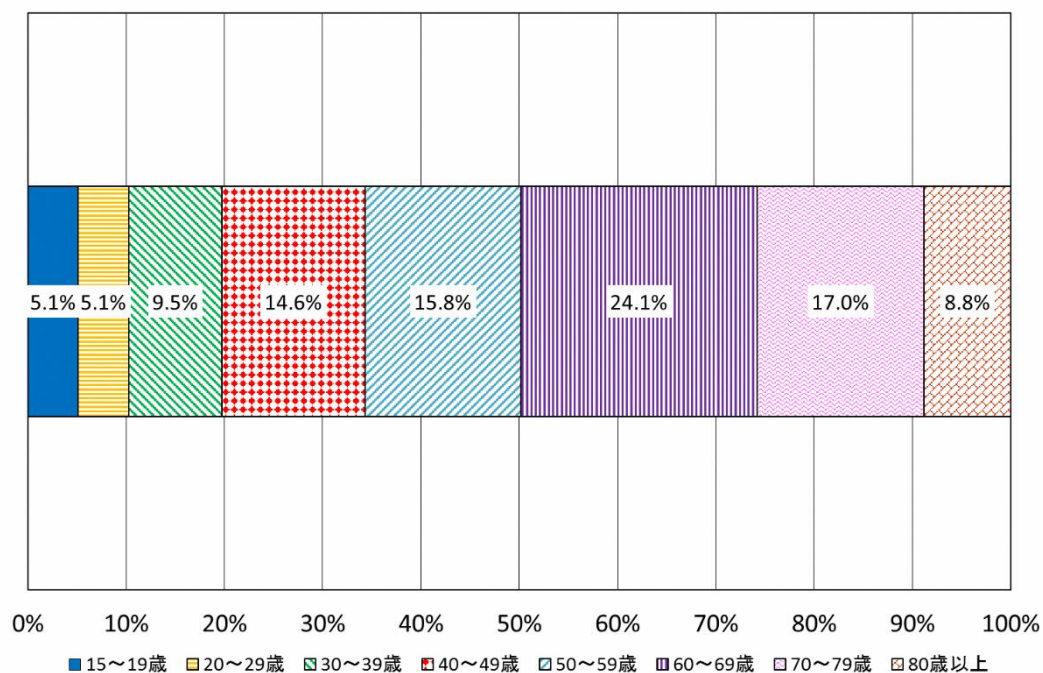
年齢階級別の性の構成比について、図表 3 に示す。「15～19 歳」を除く、各年齢階級で女性の回答者の割合が高くなっている。

なお、基礎データとして、年齢階級別・性別の人数を図表 4 に示す。

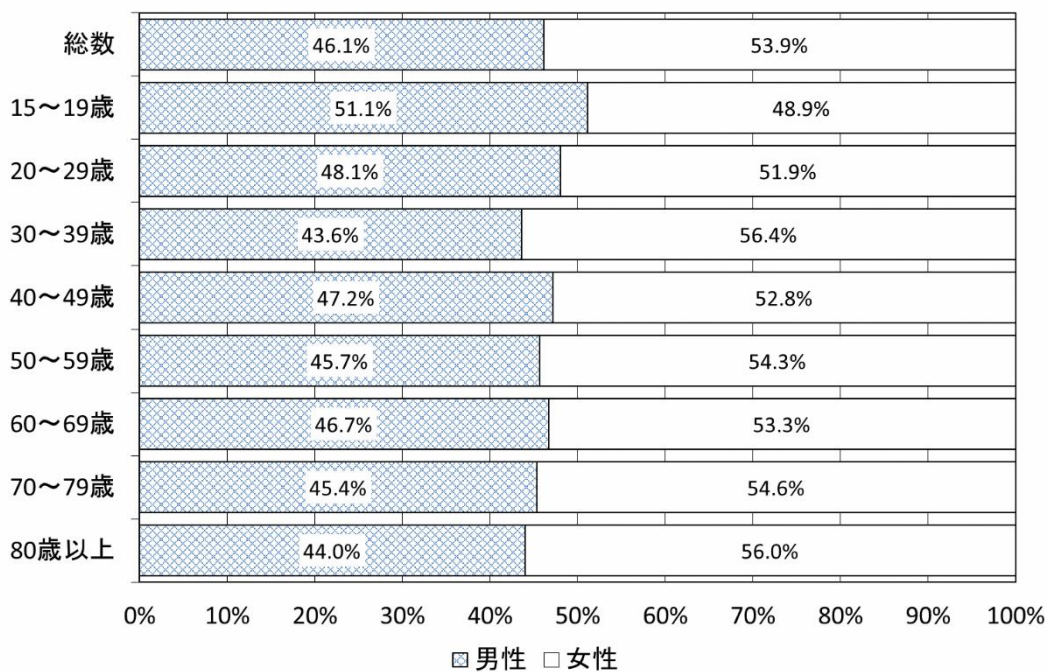
図表 1 回答者の性の構成比



図表 2 回答者の年齢階級の構成比



図表 3 回答者の年齢階級×性別の構成比



図表 4 回答者の年齢階級×性別の人数

年齢	男性 (人)	女性 (人)	総計 (人)
15～19 歳	67	64	131
20～29 歳	63	68	131
30～39 歳	106	137	243
40～49 歳	176	197	373
50～59 歳	185	220	405
60～69 歳	287	328	615
70～79 歳	197	237	434
80 歳以上	99	126	225
総計	1,180	1,377	2,557

(2) 調査項目

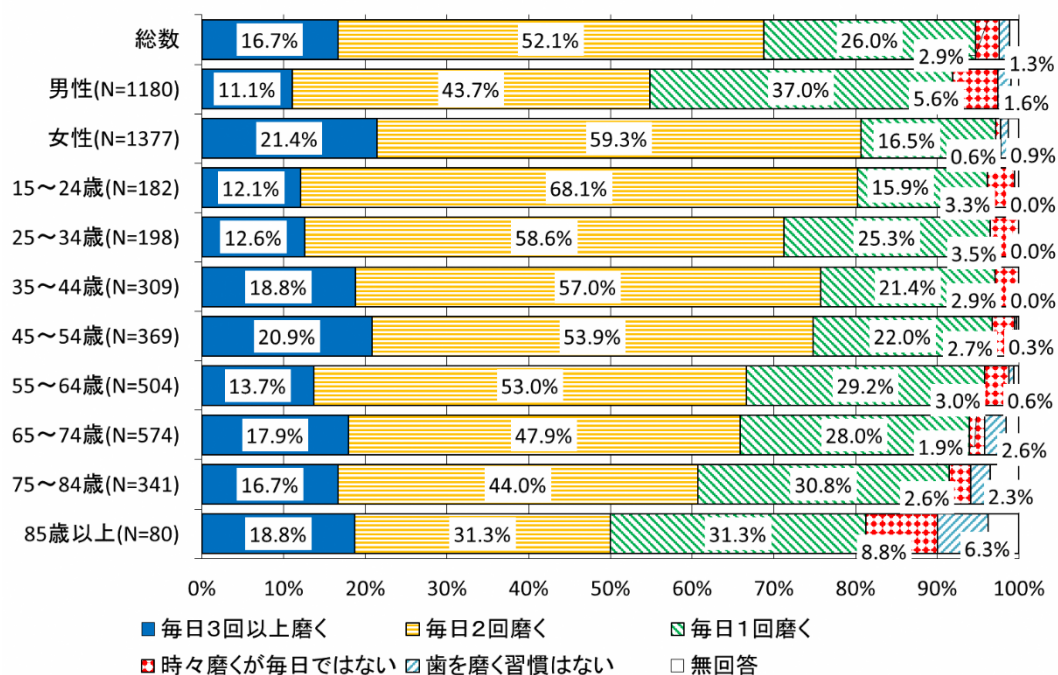
ア 歯磨きの回数

歯を磨く回数について、図表 5 に示す。回答者全体では「毎日 2 回磨く」が 52.1%と最も多く、次いで「毎日 1 回磨く」が 26.0%、「毎日 3 回以上磨く」が 16.7%となっており、毎日 1 回以上磨く者が 95%近くを占めるとともに、毎日 2 回以上磨く者も 68.8%と 3 人に 1 人以上の割合となっている。

性別にみると、「毎日 3 回以上磨く」は男性 11.1%に対し女性 21.4%、「毎日 2 回磨く」は男性 43.7%に対し女性 59.3%であり、女性のほうが 1 日に磨く回数が多くなっている。

年齢階級別にみると、「55～64 歳」以上では毎日 2 回以上磨く者の割合が 70%を下回っている。

図表 5 歯を磨く回数×性別／年齢階級別



イ 歯間清掃用具の使用状況

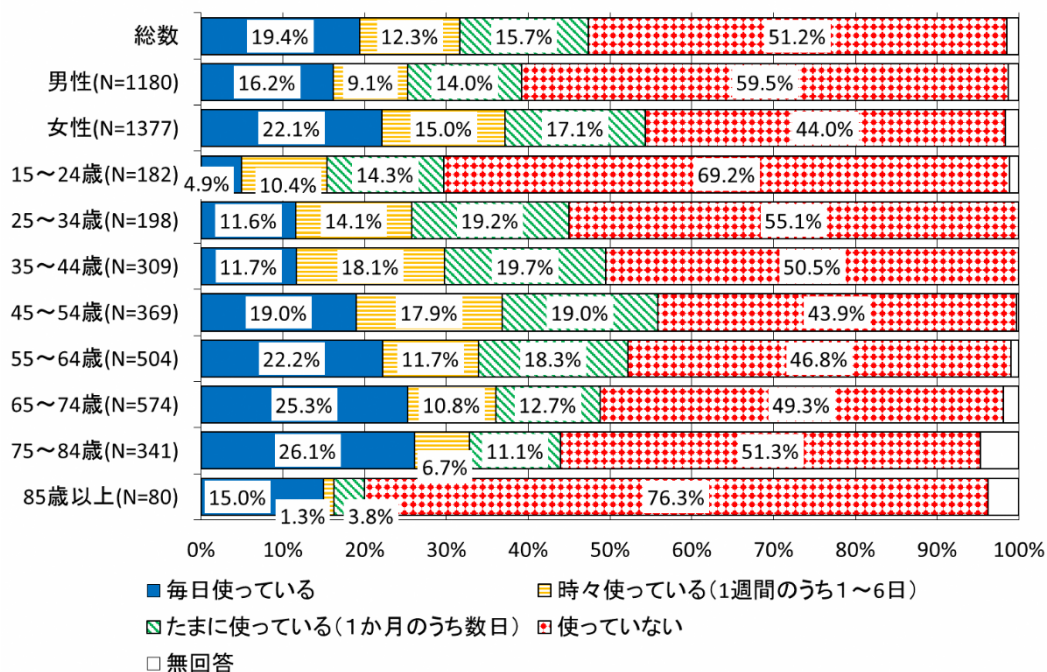
歯間清掃用具（歯間ブラシまたはフロス（糸ようじを含む））の使用状況について、図表6に示す。回答者全体では「毎日使っている」が19.4%、「時々使っている」が12.3%、「たまに使っている」が15.7%となっており、これらを合わせた、「歯間清掃用具を使用している」者は47.4%と約半数である。

性別にみると、使用している者は女性で54.2%、男性で39.3%となっており、女性のほうが約15ポイント程度高くなっている。

年齢階級別にみると、使用している者の割合は、「45～54歳」までは年齢階級が上がるにつれて高くなり、それ以上では年齢階級が上がるにつれて低くなっている。

なお、40歳代の「歯間清掃用具を使用している」者の割合は53.6%（373人中200人）、50歳代では54.8%となっている（405人中222人）。

図表6 歯間清掃用具の使用状況×性別／年齢階級別



ウ 定期的な歯科健康診査の受診

定期的な（1年間に1回以上の）歯科健康診査の受診の有無について、図表7に示す。回答者全体では29.2%の者が受けており、性別にみると、男性が24.7%、女性が33.1%であり、女性のほうが8ポイント程度高い割合となっている。

年齢階級別では、学校保健安全法に基づく定期健康診断の対象となる高校生を含む「15～24歳」が38.5%と最も高くなっている。この年齢階級を除くと「65～74歳」が32.4%、次いで「75～84歳」が31.7%と約3人に1人の割合となっている。

なお、20歳以上における受診者の割合は、28.3%となっている（2,426人中686人）。

図表7 定期的な歯科健康診査の受診×性別／年齢階級別

